

# 妙安寺だより 453

落ち着かない日々が続きますが、私達は平穩になる事を祈るのみです。

4月28日は、日蓮聖人が『妙法蓮華經』のを宣言された『』の日です。

『妙法蓮華經』は中国の僧侶・が漢訳した『法華經』で、訳された意味が原典に一番近い經典とされています。（他の現存の漢訳本は、訳『法華經』、・訳『妙法蓮華經』）

『妙法蓮華經』（以下、法華經）自体は、厩戸皇子（聖徳太子）撰（編纂）とされる『』（現存せず、写本多数）があることから、奈良時代には日本に渡ってきていた事がわかります。

中国の天台山で修行した、伝教大師最澄により創設された日本の天台宗は、比叡山延暦寺に於いて『法華經』を基本の經典としていましたが、「（理解し難く、入信し難い）」とありますように、徐々に分かり易い他の經典が弘まっていきました。

しかしながら、『枕草子』に「經は法華經さらなり」とありますように、平安時代から貴族等には読まれていたようです。安芸の宮島の平家納経も『法華經』です。また、現在放送中のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では、北条政子役の小池栄子さんが「觀世音菩薩普門品」を唱えていました。

日蓮聖人は1222年のお生まれですから、鎌倉時代中期に当たるでしょうか。その頃、武家では禅宗（曹洞宗・臨済宗）、庶民には浄土教（浄土宗・浄土真宗）が盛んでした。仏教は盛んでしたが、疫病・飢饉・災害が多発していました。日蓮聖人はそれを疑問に思い、全ての經典を読み、「」である『法華經』をろにしているからである、と結論づけ、『妙法蓮華經』を弘める決意を固め、建長5年（1253年）4月28日、千葉県の清澄山の山頂に立ち、太平洋から上る朝日に向かい「南無妙法蓮華經」と唱え立教開宗を宣言し、同日、山内の（出家の時の師匠の）にて最初の説法を行ないました。

その後については、折りに触れて、紙面にて述べさせていただきます。

**\* 勉強会は、コロナ感染拡大防止の為、当分の間、お休みいたします**

**\* 「地涌の声」(寺報に同封されている)の功德主を募集しています。**

**\* ゴミの分別にご協力ください。枝物は大きい籠へ、それ以外の草(土を落とす)・花類・紙類はゴミバケツへお願いいたします。**

**\* 5月1日より、18時に閉門します。閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。**